



2020.9.21~22 教会学校キャンプ 長野県泰阜村

美しい自然中で神様と一緒に

主任司祭 パウロ・フィラデルフィ

南山教会の皆さん、今月の月報には子供が書いた文章もたくさん入っています。それは、主日のミサの中でも共同祈願で祈ってください、やっとな出来た子供のキャンプの感想文なのです。子供たちのいろいろな印象が書いてあると思いますが、どうぞ、ごらんください。今年の教会学校のキャンプはいつもの年とは違った形となったと思います。それは、まず、例年に行っていた8月にコロナ感染者が増えてきたため、少し落ち着いてきた9月の時期にずらして、事前に何人かの病院の先生たちに相談し様々なコロナ対策をした上で行いました。例えば、今回は普通二泊のキャンプを一泊だけにして、参加者は家族単位で移動、宿泊することとなりました。また、プログラムも屋外のものを中心となりました。しかし、今回のキャンプも素晴らしかったと思います。長野県泰阜の自然の気持ちのよさ、その中で遊ぶこと、虫を研究すること、また神様との絆とお互いの絆を強めることが出来たと思います。

子供たちの感想の中に「毒蛇と毒キノコを見た。」「急な坂が滑った」と書いてある通り、子どもたちはそのままの自然を体験することができたと思います。自然の素晴らしさを見出して楽しみ、心も癒され、神様の偉大さも見出すことができたと思います。

今年の教会学校キャンプに行くことができなかった子供達が何人かいたと思いますが、来年こそ一緒に行きましょう！もちろん、来年まで待たなくても、これからの毎週の主日のミサに来て祈り、日曜学校でもたくさん遊びましょう！教会学校に直接関わっていない信者の皆さんにも、理解してください。子供たちのために捧げてくださった祈りに感謝いたします。若い家族や子供達が南山教会の将来だと思えますので、一緒に大切にしていきたいと思えます。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

教会学校キャンプ感想文

キャンプ

1年 むらい あおぞら
みんなでキャンプへ行きました。そのなかでいちばんあせをかいたのは、山のぼりです。

山のぼりのさいしょに、へびを見つけました。こわかったです。ほかに、花火を、やりました。みんなが花火をやったので、けむりができました。それをすうと、せきが、出ました。
せんこう花火も、やりました。

たのしかったです。
ほかに、きもだめしをやりました。ひとがとうめいになげんに、へんそうしていました。
ほかに、ドンと、ゆう音も、しました。

になげんがきた。へんそうして、うーと、いつていました。
さいしよびつくりしてしまいました。が、よこにいくとになげんがへんそうしていることが、わかりました。
わたしは、ふーと思いました。
パウロしんぶさまが、へんなおめんを、かぶっていました。

2年 里田 はつほ
山にいきました。のぼるまえにどくへびがいました。そのつぎに

どくきのこが、ありました。山をおりるときにくりがありました。すぐきんにくつうになりました。いたかったです。

キャンプのかんそう

2年 いとう みさと
きのう、アイパークでお昼ごはんを食べました。みんなでたべておいしかったです。つぎにボブスレーをしました。カーブやじどうであがるところがありました。2かいのれてうれしかったです。

キャンプ場につきました。思ったのとちがいました。ただのりよかんだと思いました。

花火をしました。けむりをすってはなのどがいたくなりました。そのあと、えみちやんとひなちやんとあおぞらちやんとわたしと、せんこう花火をしました。あおぞらちやんが1ばんにおわり、2ばんに、えみちやんがおわり、3ばんに、ひなちやんがおわって、わたしがかちました。つぎに、きもだめしを見に行きました。みんな3人ぐらいにわけて、いきました。わたしは、ひなちやんと、あおぞらちやんと、行きました。赤いふくをきた人がかえるのおぼけに、へんそうしていました。もういつかいた道を通りました。こんど

は、古いかべをたたいた人がいました。びつくりしました。そのあとねました。
朝おきてきがえました。そのあと、みさをしました。そのつぎに朝ごはんをたべました。山のぼりに行きました。きゆうでした。帰るときに、さかがさがっててこわかったです。



2年 はぎわら ゆいと
アイパークで、ボブスレーをしました。「スピードをおとせ」とありましたが、おとしませんでした。うしろにいたママが「スピード」と言っていました。スピードをおとさないようにしようとおもいました。
2日目は、ハイキングに行く前にコオロギをつかまえました。コオロギを、手ぶくろに入れて、山の上につれて行きました。山の上で、コオロギを出して、うでにくつつけました。ずつとくつついていました。かわいかったです。気がついたら、コオロギがいなくなっていました。とてもさんねんでした。

2年 北川 遼

9月22日虫とりで、さいしよに、バッタをとりました。
ちやいろいばつたをとりました。たくさんちやいろいばつたをとりました。そしたらきりぎりすをとりました。うまおいを三びぎとりました。いろいろな虫をとりました。
うれしかったです。
たくさん虫の音がきこえました。声があるほうこうのほうへいつてみて、こうろぎがいませんでした。

いつてもいなかっただけどきれいなこえでした。さいごににがしました。でも虫とりは、とてもたのしかったです。キリギリスとうまおいをかんさつしました。

キャンプの感想

5年 里田 笑実

今年は、長野県の泰阜村にいきました。始めにあいパークという公園で、昼食を食べました。しきものがななめついていたのですべりおちそうになりました。食べ終わった後にそりみたいにすべっていく、ボブスレーというののりしました。わたしは、2回のつたので、1回目は、すこしこわくて、ゆっくりいきましたが、2回目は、すこし早くやりました。パパは、ノーブレイキでも早かったです。次に修道院へ、行きました。そこで祈りをしてから、シスターたちがつくったプリンをたべました。とてもおいしかったです。それから、修道院のうら山に、行って、ルルドのマリア様の前で、写真をとりました。ちょうど、太陽の光がてらしていたので、まぶしくて、目をあけにくかったです。宿に行つて、その後

に、バーベQをしました。少し食べすぎで、おなかがいたくなりました。その後、花火もしました。けむりがたくさんできて、きりの中にいるようでした。きもだめしをしました。「おばけだっ。」と思つたら、リーダーや神父様でした。宿に帰つて、空を見たら、名古屋より、星がきれいに見えました。部屋に行つてふとんにはいるとすぐにねてしまいました。朝になってミサをしました。その後朝食を食べて、ハイキングに行きました。登る時に、すぐくつらかったです。頂上へつくと、ながめがきれいでした。おりる時は、登る時よりたいへんでした。登る時が、きゆうだったので、おりる時に、すべりおちそうでした。なので、友達と、山をおりる時に飛んで帰りたいなといつておりました。下まで行つた時に少しまいごになりました。でもそれが近道だったのでラッキーでした。その後に登つた山を見て、あんなに高い山を登つていたんだとおどろきました。とても楽しかったです。

3年 里田 笑花

あいパークで父と子とせいらいのみ名によって、と言つてからボブスレーにのりました。バーベキューをしました。おにががおいしかったです。花火もや

りました。きもだめしもしました。星がきれいでした。ミサにできました。おふるはよかったです。父と子とせいらいのみ名によつて、アーメン。

今年のキャンプ

5年 萩原 逢人

今年のキャンプは長野県、泰阜村の「やまびこ館」にいきました。

まずあいパークでお昼ご飯を食べ、虫をつかまえ、そのあと、『ボブスレー』と書かれた車輪のついたそりのアトラクションに乗りました。

足の間にあるレバーを前にたおすと、ブレイキがゆるんで進み、手前に引くとブレイキが効いて、止まりました。スピードが出て楽しかったです。

そのあと修道院でロザリオの祈りをしてからおやつを食べました。

そうそう、修道院にいくときに、すこし迷つてグルグル回りました。修道院のあと宿にいき、しばらくしてBBQをしました。好きな物があつておいしかったです。

そのあと花火をしてとてもきれいでした。



きもだめし「？」もして車でかえりました。つかれたです。次の日は山登りをしました。道は荒れていましたが、山頂は高くいいながめでした。下山のときは、すこし足がすべりましたがころびませんでした。栗をひろつて宿に帰り、昼ご飯を食べました。そのあと、この感想文を書き、そのあと帰りました。

らい年も楽しいキャンプが待ち遠しいです。



教皇ミサに参加して

神言会司祭

デュマス・マーティン

去年の11月。

もうまもなく東京ドームで教父様を迎えてから一年が近づきました。2019年11月25日、教父様ミサにあずかった恵みと喜びは忘れられません。日本で教父様のミサにあずかった恵みを思いながら思い出を分かち合うことになりました。司祭団は記念かざらもいれませんでしたから、そのかざらを使うと、いつもやっぱり東京ドームに行ったら時の思いが出てきます。

2019年11月25日教父様の前日は長野県泰阜カルメル会の修道院に行つて、夕方のミサを捧げて、その後朝まで東京のミサの時間間に合うかどうか心配でいつもと違ってよく寝れませんでした、当日も修道院のミサがあったので、ミサの後すぐ東京に向かつて運転しながら東京ドームのことばかり考えていました。思ったより早く東京に着きましたが、どこに行けばよかったですかともわかりませんでした。心に残ったことはたくさんありましたが、大切な体験だったと思うのは、東京ドームで集まった人々の前で司祭席に行く行列にいた時、色々な信者が自分たちの知り合いの司祭たちをご覧になると

大声で叫んで喜びを見いだす態度に、よく感動しました。司祭団の中に囲まれた私は、東京では知り合いが全くないと思つていたら、少し前に進んだ時、マーティン神父様と名前を読んでもくれた信者がいらつしやいました。「マーティン神父様」という声が耳に入ると、心の中で、こんなところでもわたしに気がついてくれた信者がいるという感謝とあふれる喜びがありました。



11日の誕生日と当たっていたこととです。2番目は11月11日の霊名の日とも番号が当たっていたことです。自分がわざと選んだ番号ではありません。しかし、神学生が渡してくれた器の番号の数字を見たら11番だっただけで嬉しかったです。

日本の教会の一人の宣教師司祭として、ローマに行く予定はありませんでした。大学の勉強もあるから、しばらく教父様に会えると思つたことはありませんでした。

カトリック教会の信者の皆さんが、日本の国民全体が、一つの思いと心で、喜びながら教父様を迎えられたことは忘れられないことです。教父様を迎える喜びだけではなく、ローマから離れたところに住む私たち一人一人にも、全世界の教会の中心的な一致を深める経験などが示されたのは事実でしょう。

ご聖体を配るために渡された器の番号が不思議に11番でした。私にとつて11という番号は二つ関係があります。一つ目は私の1月です。



典札一口メモ 香部屋の窓から
第33回 シリーズ入信の秘跡
「洗礼」のお話
典札委員長 新内飛鳥

私たちの信仰生活には欠くことのできない事柄に秘跡があります。要理教育で「七つの秘跡」を学んだことを覚えていると思います。

洗礼、堅信、聖体、ゆるし、病者の塗油、叙階、婚姻の七つです。この七つの秘跡は大きく3つのグループに整理することが出来ます。それは「入信の秘跡」「いやしの秘跡」「交わりと使命を育てる秘跡」です。入信の秘跡とは「洗礼」「聖体」「堅信」です。いやしの秘跡と呼ばれるのは「ゆるし」「病者の塗油」です。交わりと使命を育てる秘跡と言われているのが「叙階」「婚姻」です。

信者は洗礼の秘跡によって新たに生まれ、堅信の秘跡によって強められ、聖体の秘跡によって養われます。いやしの秘跡は、キリストが、この二つの秘跡によって自分のいやしと救いのわざを教会が続けていくことを望まれたものとしています。かつては、ゆるしの秘跡は「悔悛（の秘跡）」、病者の塗油は「終油（の秘跡）」と呼ばれていました。現在は名称が改められ、特に病者の塗油は意味

合いも少し修正され、臨終の時だけでなく重い病気や危険な手術を受ける場合にも受けられます。

さて、この中で「入信の秘跡」を取り上げてシリーズとして3回にわたってお伝えして行こうと思えます。その1回目「洗礼」についてのお話。

教会は、洗礼の根拠を福音書に求めています。イエス様がヨルダン川で洗礼者ヨハネから洗礼を受け、場面や復活されたイエス様が使徒たちに「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊のみ名によって洗礼（バプテスマ）を授けなさい。」と使命をあたえたこととです。

カトリック教会で洗礼は司教、司祭、助祭が授けるのが一般的ですが、緊急の場合には、だれでも、たとえ未受洗者であっても、必要な意向（教会が洗礼を授けるときに行おうとしていることを行いたいという意向）を持って聖なる三位の神を呼ぶ洗礼の定句を唱えることによって、授けることができます。もちろんこの場合、その後司祭に報告するよう求められています。臨終洗礼などがそれにあたります。

備をします。成人洗礼については求道期と洗礼志願期をそれぞれ第一段階、第二段階として、要理教育と受洗の決意を表し、第三段階として復活徹夜祭に洗礼と聖体の秘跡を授かります。

洗礼式の要素は次の通りです。

1、呼び出しと紹介……洗礼志願者が共同体に紹介されます。2、諸聖人の連願……大きな喜びをもたらす儀式であり祈りですから多くの聖人に取次ぎを願って皆で祈ります。教会の保護の聖人や洗礼名の聖人を加えることが出来ます。3、水の祝福……神の偉大な救いのわざを記念し聖霊の働きを祈ります。4、悪霊の拒否……司式者が志願者に尋ねます。5、信仰宣言……通常のミサで行われる信仰宣言とは違い司式者と志願者の対話の形で宣言されます。6、洗礼（灌水礼が一般的）……代父または代母が志願者の肩に手を置きます。7、聖香油の塗油……司式者が志願者の額に香油を塗ります。8、白衣の授与……キリストを着るものとなったことを表します。9、ろうそくの授与……光の祭儀で祝福された復活のろうそくから火を取ります。10、洗礼名の授与……

洗礼には幼児洗礼と成人洗礼があります。幼児洗礼は両親がその準備をします。成人洗礼については求道期と洗礼志願期をそれぞれ第一段階、第二段階として、要理教育と受洗の決意を表し、第三段階として復活徹夜祭に洗礼と聖体の秘跡を授かります。

て、一般的には模範としたい聖人の名前をいただきますが、実は聖書に根拠があれば人名に限る必要はないようです。地名や出来事の名、山の名前、物の名前など、極端なことを言えば「机」とか「いす」とか「イチジク」とかでもありはありだそうです。勿論お勧めする人も選ぶ人もいないような馬鹿馬鹿しいたとえば「お解りやすく表現したのだとご理解ください。」

成井大介新司教司式ミサ

11月1日(日)9:30、11:00のミサを、
9月22日に司教叙階された
成井新司教様が司式されます。

第四回運営委員会

2020年度

第4回運営委員会議題

はじめの祈り

司祭団より

11月2日から4日まで、マリア館ホールで神言会総会を行います。

3日に成井司教様によるミサが行われます（神言会関係者のみのミサなので一般参加はできません）。

3日間を通して成井司教様がいらつしやいます。あらためて出身教会として招待をするというのはいかがでしょうか？

報告・連絡事項

1. 営繕委員会・大規模補修プロジェクトチームより

(営繕委員会)

先月の運営委員会で説明した大聖堂の入り口他の塗装工事について承認されました。報告として、司祭館から大聖堂のLANケーブルを引く作業もほぼ完了しました。信徒の協力で1万円強でできました。

2. 納骨堂管理委員会より

(納骨堂管理委員会)

11月1日に行う予定だった納骨堂の合同ミサは、新型コロナウイルスの予防のため中止となりました。納骨堂への各自の訪問は通常どおりで

す。また、納骨段の増設について、現在170檀空きがあるとのことから1〜2年はもちますので先送りになります。個人用の合葬納骨檀の設置についても検討していただきます。また信者全体集会でお話しします。

3. 各団体、委員会の委員の名簿の配布 (運営委員会)

名簿を運営委員会のメンバーに配布します。他には事務所に置かれますが、氏名以外公開はいたしません。変更がありましたら運営委員長までお願いいたします。

4. 病者の塗油について

(主任司祭・典礼委員会)

滞りなく行われました。典礼委員会での振り返りの中で、敬老の対象ではない方も塗油を受けられている方が若干名いらつしやいました。特に問題はありません。

5. 典礼奉仕者全体集会10(感謝ミサ11時)について

(典礼委員会)

今年はコロナの影響で例年通り行うことが出来ませんが、主任司祭からお話がありますので典礼奉仕者の皆様は10時30分にお集まりください。どなたでもご参加いただけます。お手数おかけしますが、どうぞ宜しく願い申し上げます。今年はコロナの影響で行うこ

とが出来ませんが、パウロ神父様からお話がありますのでお集まりください。

6. その他

◎ 審議・相談事項

① クリスマスマサのコロナウイルス感染症対策について

事前の対策

ミサの回数を増やし、ミサはすべてのミサを同じように行う事を、「ホームページ」「月報」・「教会のお知らせ」などで、事前にお知らせし、ミサの分散参加を皆様にお願ひする。

当日のコロナ対策について

- ・ 記名(氏名・TEC)を行う
- ・ 入堂は120人で、お聖堂玄関8名、計128人を超えた場合、人数制限を行う。
- ・ その他通常のミサに準じて行う。

・ 駐車場は確保するが、駐車場係は配置しない。

典礼委員会より、「例年のミサ時間は変更せず、18時と22時を追加して行うのはどうか？」という意見が出ました。

例年、24日の3回のミサに合計1200名程の方がみえられます。24日に5回のミサが、25日の4回の合計で9回のミサを行います。ミサの開催時間と1回あたり

のミサの人数制限を行うことをホームページにて周知します。

例年、クリスマスマサのチラシを新聞折り込みしますが、今年は新型コロナウイルスの関係で行わないこととします。今後、各ミサに人数を分散する方法を審議いたします。

◎ 教会行事について。「信者全体集会案」(10月18日(日))について

今回例年通り行うことが出来ないうえ、以下の原案を提案いたします。

◎ 会は大聖堂にて10月18日11時のミサ終了後から13時(予定)いたします。例年に比べ短時間で行う必要があります。また皆様に安心して出席していただく為に十分なコロナ対策が必要であると考えます。

◎ 各活動グループより 今年度の方針・抱負の紹介について、今年度は各会の運営委員の新任のあいさつもできておりませんので、各会委員に内陣に上がっていただき、マイクとウエットティッシュを回し除染を行い順次、自己紹介を交え、できるだけ短時間で行う形でおこないます。

◎ 質疑・応答に関して 当日の内容について、「カトリック会館取壊しと、あと地の利用について」以外はその場での口

頭の質疑ではなく、質問記入用紙を配布し記入していただき、後日メール等でお答えするという形で考えております。「カトリック会館取壊しと、あと地の利用について」について当日の質疑の時間を設けますが、ご要望については書面にて後日お受けいたします。

この進め方に関して、事務所にて資料を事前に周知して、ミサの案内にも入れます。

◎出席者の署名に関して

下記方法を考えております。ご意見があればお聞かせください。時間の制約上11時ミサの後なるべく早く始める必要があります、11時ミサ参加者はミサ出席署名の際うんえいで信者全体集会出现者はそのまま座っておいていただき、信者全体集会のみに出席の方は入堂時、署名して入っていただくかたちを考えました。案内をヨセフ会案内係の方へお願いいたします。

教会美化について10月25日・教会及び周辺清掃について

(ヨセフ会・マリア会)

時間を短縮して通常通り行う8時のミサと11時ミサの参加者様はミサの前に清掃にご協力いただければ良いです。水分補給につきましてはマリア館のコーヒーシヨップの所のみで行います。

・マリア館倉庫整理について

(バザー委員会)

通常の清掃終了後、タグのついた物以外をカトリック会館に運び入れる皆さんで直近で倉庫の中身をチェックしました。処分できるものを関係各位に確認してあります。処分するのはカトリック会館に一旦運び入れます。

処分してはいけないものに関しては、会と責任者氏名の記載をお願いいたします。

小聖堂と結婚式控室の間の倉庫についても同じように処分をいたします。

・カトリック会館の整理について

(ヨセフ会)

マリア館倉庫整理終了後、机・椅子等必要と思われる物をマリア館倉庫に運び入れる。

・美化終了後の親睦会について

(パウロ神父様・運営委員会)

皆さんが安心して参加できるようにな会を企画する。一例：教会食べ物は個包装されたおにぎり・飲み物を用意。室内ではなく教会中庭にて行う。12時30分頃からの予定です。親睦会を始めますという形ではなく、教会美化ご協力への感謝を込めておにぎり等をお持ち帰りくださいという形で、その場でそれを頂くこともできる形で行います。飲物(個別・ペットボトルと

紙バック)と市販のおにぎり150個と子供用の駄菓子(個別包装)を適当数用意する予定です。

9月より(後期)の行事予定に関して(運営委員会)

行事予定を修正いたしました。聖堂玄関に置き、近々配布したいと思っておりますので訂正などありましたら早急に運営委員長までご連絡をください。新型コロナウイルスの関係で急遽予定が変更することがあります。

その他

第3波が終息しつつありますが、冬場の第3波が来る場合に備えて新しい手の平で測れる体温計を準備します。詳しい運用については12月今後の運営委員会で審議します。

終わりの祈り

各会報告

オルガン管理委員会

今年の夏は、大聖堂の雨漏りや、高温・高湿度のため大聖堂バルコニーは9時〜17時まで扇風機の連続運転をしてきました。オルガン点検修理の際に、望月オルガンにアドバイスをしてもらった所、「季節に関係なく扇風機を回して空気の流れを作るのがオルガン環境に良い。」とのこと

でした。平日は事務の方へお願いして今後もしばらくは9時〜17時に扇風機を使用します。

ミサ中は、騒音の事もあり、オルガニストの判断で適宜使用していきたいと思えます。

パウロ神父様が延長コードで下の階でスイッチのオンオフができるように工夫してくださることになりました。

教会学校

9月13日、中高生会と合同で敬老会のお祝いカードを配りました。

9月21日〜22日まで長野県泰阜村へキャンプに行きました。

二日間、晴天に恵まれ、カルメル泰阜修道院への巡礼もできました。皆様のお祈りのお蔭で病氣、事故に遭うこともなく、充実したキャンプを過ごすことができました。子供たちにとつて良い思い出になったことと思います。お祈り下さった一人一人の皆様にご感謝申し上げます。

レジオマリエ

9月から集会が再開され、9月19日には、五反城教会にて名古屋クリアの集会も行われました。

南山句会

令和二年九月



*句会を開催されませんでした。

尊者カルロ・アクーティスの列福

2020年10月1日、若い尊者カルロ・アクーティスの遺体を収めた墓がアッシジで正式に開かれました。9日後に福者となるカルロの遺体は、腐敗していない体の部分を含む骨格が「全体」のかたちで見ることが出来ます。彼は1991年5月3日に父親の仕事のために滞在していたロンドンで生まれます。その後ミラノで育ち、教育を受け、2006年10月12日、15歳で白血病で亡くなります。死後14年、彼の遺体はそのまま残っています。2018年7月5日に教皇フランシスコから尊者に挙げられています。来たる2020年10月10日にアッシジで列福式が行われます。私たちは、歴史上初めて、ジーンズ、スニーカー、スウェットシャツを着た福者を見ることが出来ます。これは本当に初めてのことで、私たちにとっては素晴らしいメッセージです。なぜなら聖性は遠いものではなく、主がすべての人の父であり、すべての人の手の届くところに聖性を感じる事ができるからです。この聖体への忠実な使徒であったカルロは、すべての人、特に若者のための聖性のモデルです。(サレジアンシスターズ日本管区が列福式にあたり翻訳下さった文章です。)

信者の消息

転出

いつまでもお元気で

受洗

おめでとうございます

ペトロ チャン ダン コア

転入

ようこそ

結婚

♡ お幸せに ♡

帰天

神の栄光にあずかれますように

マルタ 金子 今朝枝 (86歳)

教会維持費

9月は1,082,663円の維持費が納められました。有難うございました

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

大規模修繕基金

9月分

140,500円のご協力をいただきました。ありがとうございました

2020年10月・11月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
10月	ロザリオの月	18(日)信者全体集会 25(日)教会美化・懇親会	2(金)マリア会例会(懇談会) 3(土)典礼委員会 4(日)11:00運営委員会 11(日)教会周辺清掃 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 24(土)要約筆記付きミサ	11(日)東八事第一墓地 合同追悼ミサ 18(日)世界宣教の日 (献金)
11月	死者の月 1(日)諸聖人の祭日 2(月)死者の日 9(月)ラテラン教会の献堂 22(日)王であるキリスト 29(日)待降節第一主日 (B年)	15(日)子どものミサ (七五三) 22(日)9:30天使ミサ・入門式・日英合同ミサ	1(日)11:00運営委員会 6(金)マリア会例会(懇親会) 8(日)教会周辺清掃 8(日)ヨセフ会班長会 14(土)典礼委員会 21(土)10:30子ども部屋 28(土)要約筆記付きミサ ()中高生会遠足	1(日)東八事第二墓地 合同追悼ミサ 15(日)～22(日)聖書週間 22(日)城東ブロック 会議